

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	英語演習Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0002		科目区分		一般 / 必修選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	環境都市工学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	1.松尾秀樹他『リーディング・コンパス』三修社、2015年、1,700円(税別) 2.亀山太一監修『COCET 2600 理工系学生のための必修英単語2600』成美堂、2012年(継続使用) 3.和田稔編著『シード総合英語 [三訂新版]』文英堂、2010年(継続使用) 4.電子辞書を含む各種辞典(継続使用)						
担当教員	岩崎 洋一,小澤 健志,瀬川 直美,山本 長紀						
到達目標							
語彙 ・第4学年までに定着を図った語彙に加え、特に『COCET 2600』の単語番号1001から1500の500語の定着を図る。 ・自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。 文法事項及び構文 ・中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。 ・高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。 読み書きを通して行うコミュニケーション ・毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目 1 語彙	第4学年までに学習した語彙が定着しており、『COCET 2600』の単語番号1001から1500の500語も定着している		第4学年までに学習した語彙がほぼ定着しており、『COCET 2600』の単語番号1001から1500の500語もほぼ定着している		第4学年までに学習した語彙が定着しておらず、『COCET 2600』の単語番号1001から1500の500語も定着していない。		
評価項目 2 文法事項及び構文	中学校で既習の文法事項や構文が定着しており、高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文が習得できている。		中学校で既習の文法事項や構文がほぼ定着しており、高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文がほぼ習得できている。		中学校で既習の文法事項や構文が定着しておらず、高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文が習得できていない。		
評価項目 3 読み書きを通して行うコミュニケーション	毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握でき、また、自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。		毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要をほぼ把握でき、また、自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章をほぼ書くことができる。		毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握することができず、また、自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
JABEE C-3 準学士課程 3(2)							
教育方法等							
概要	・4年生までに学習した英語の各科目での成果を基礎に、総合的な英語力を身に付けることを目的とし、TOEICで350点程度が得点できる英語力を身につけることを目指す						
授業の進め方・方法	・授業は英文読解の演習を中心に行う。						
注意点	・授業開始時に『COCET 2600』に準拠した小テストを実施するが、範囲は「50語／回」とする。なお、中間試験および定期試験においても「250語／期×2期＝500語」の範囲で出題する。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス			授業に関する理解を深める。	
		2週	Unit 1 The Washington Cherry Trees			Unit 1 の英文読解等を行う。	
		3週	Unit 2 A Modern Day Japanese Knight			Unit 2 の英文読解等を行う。	
		4週	Unit 3 Mona Lisa-A Mysterious Painting			Unit 3 の英文読解等を行う。	
		5週	Unit 4 Space Shuttle Challenger			Unit 4 の英文読解等を行う。	
		6週	Unit 5 Honesty Wins			Unit 5 の英文読解等を行う。	
		7週	Unit 6 The Miracle on the Hudson			Unit 6 の英文読解等を行う。	
		8週	前期中間試験				
	2ndQ	9週	Unit 7 The Family Bridge			Unit 7 の英文読解等を行う。	
		10週	Unit 8 Dr. Shinya Yamanaka			Unit 8 の英文読解等を行う。	
		11週	Unit 9 Made in Japan			Unit 9 の英文読解等を行う。	
		12週	Unit 10 Youth			Unit 10 の英文読解等を行う。	
		13週	Unit 11 Deadly Progress			Unit 11 の英文読解等を行う。	
		14週	Unit 12 John Matthew Ottoson			Unit 12 の英文読解等を行う。	
		15週	前期定期(期末)試験				
		16週	答案返却・解答と解説				
評価割合							
	試験	小テスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0